

# 宅配ライブラリー

図書館の書籍を自宅にしながら借りられる宅配サービス

都築電気株式会社 湯浅 圭織 yuasa-ko@tsuzuki.co.jp

## 背景と課題

### 背景

図書館の開館時間に行くと難しく学習の機会が得られず、**学びの機会を失っている**労働者、障がい者などが理由で図書館に行くことが**物理的に難しい**。乳幼児を連れての来館が**難しい**片親にとって、**時間や場所**に促されない新しい図書館の在り方が求められている。既に導入が進んでいる図書館の宅配サービスは、図書館職員の負担増になっており、業務改善が急務となっている。

### 課題

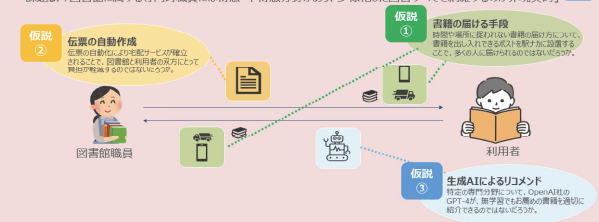
- 流行の図書宅配サービスは、送達用紙に書かれた手書きのため、大量の宅配依頼が**職員の手**に頼っている。
- 図書館に属する専門的職員は得意・不得意分野があり、**多様化**した図書すべてを網羅するのが**非現実的**になっている。
- 図書館は開架書架の収容、開架書架の貯蔵可能冊数上、人気の書籍が31か月待ちといった事態が発生している。
- 多くの図書館では障がい者の方向に宅配サービスを実施しているが、役所では紹介されず、認知度が低い。



## 仮説検証対象

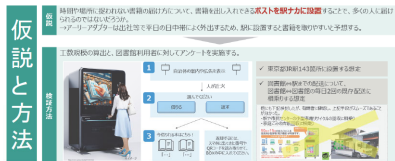
宅配ライブラリーを取り巻く課題を解決するために、まずは以下2つの課題に対する**仮説検証を3点実施**した。

- 課題A「発送用の伝票作成が手書きのため、大量の宅配依頼が職員の負担」
- 課題B「図書館に属する専門的職員は得意・不得意分野があり、多様化した図書すべてを網羅するのが非現実的」

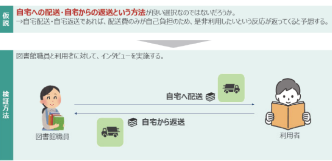


## 4回にわたる仮説検証

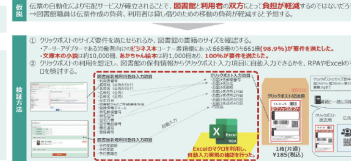
### 仮説検証① 書籍の届ける手段の検討



### 仮説検証①-2 書籍の届ける手段の検討



### 仮説検証② 伝票の自動作成



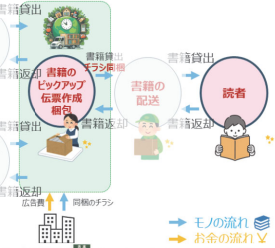
### 仮説検証③ 生成AIによるリコメンド



## ビジネスモデルの検討

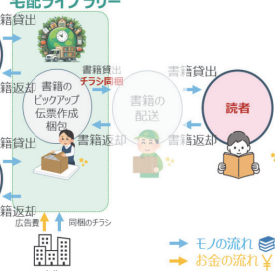
宅配ライブラリーは、**書籍のピックアップ・伝票作成・梱包に対応する作業**について、契約する図書館の状況を一元管理し、予約状況や場所等に応じて、**Uberのような最適な人員を探して対応**する仕組みにする。

### 宅配ライブラリー



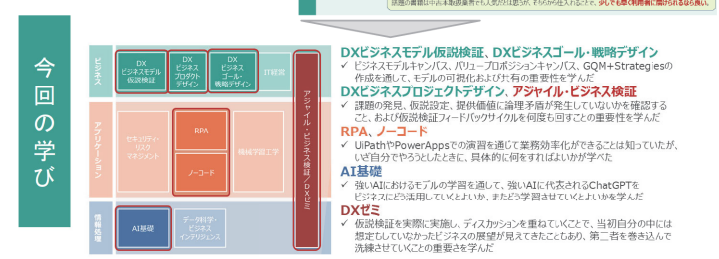
宅配ライブラリーは、日本全国の図書館、や中古本取扱業者が扱っている貸出可能な書籍と、自宅にしながら書籍を借りて読みたい人、を繋ぐ仕組みにする。

### 宅配ライブラリー



## まとめと今後の展望

図書館長へインタビューを実施し、以下のようなご意見をいただいた。



- DX・SX案件において、お客様のニーズに合わせた提案が出来るよう、DXコースで学んだ技術や事例を掛け合わせて物語を創出して見たら論議矛盾がないか詳細に考えていったりすることを継続する
- 社外でも交流の機会を増やし、幅広い年代や様々な経験者の方々と切磋琢磨しながら質の良い学びを継続する
- 今回報告した宅配ライブラリーのアイデアを社内で提案し、協力者を探し、多方面からの視野を取り入れて磨きあげる。

スマートエスイー：スマートシステム＆サービスおよびDX推進を担う人材の産学連携育成